

第二学年学習指導案

平成28年5月31日 (火) 2校時

[場所：2年3組教室]

1. 単元名 2節 連立方程式の利用
2. 主眼 文章からシュート本数を求める式をつくることことができる。
3. 本時の計画

| 学習活動 | 指導上の留意点 | 形態 | 配時 |
|--|---|----|----|
| 1. 教科書P46の「車いすバスケットボールについて」を読み、車いすバスケットボールに興味を持たせる。 | ○本時の課題に興味を持たせるために、教科書の「車いすバスケットボールについて」を読む。 | 一斉 | 5 |
| 2. 問題を把握し、めあてを確認する。 (1) 問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> [問題] ある選手は、車いすバスケットボールの試合で2点シュートと3点シュートを合わせて8本入れました。また、それによってあげた得点の合計は19点でした。この選手は2点シュートと3点シュートをそれぞれ何本入れたでしょう。 </div> (2) めあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 文章からシュート本数を求める式をつくろう。 </div> | ○問題を把握させるために、課題を黒板に提示する。 ○この問題は連立方程式を使えば解けるということを認識させるために、求めたい数が二つあることを確認する。 ○この問題はシュート本数と得点、それぞれの式をつくらなければいけないということを認識させるために、問題文にスラッシュを入れ、文章を二つに分ける。 | 一斉 | 15 |
| 3. 連立方程式をつくった後、解き、解の確かめをする。 (1) 言葉の式をつくる。 ・シュート本数の関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2点シュートの本数 + 3点シュートの本数 = 8 (本) </div> ・値段の関係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 2点シュートであげた得点 + 3点シュートであげた得点 = 19 (点) </div> | ○数量の関係を捉えやすくするために、言葉の式をつくる。 | 一斉 | 15 |

| | | | |
|---|---|-------------------------------------|-----------|
| <p>(2) 2点シュートが x 本, 3点シュートが y 本入ったとして, 連立方程式をつくり, 解く。</p> <p>(3) 解の確かめをする。</p> | <p>○何を求めたいのかを明確にするために, 何を x, 何を y とおいたのかを記入する。</p> <p>○効率よく問題を解かせるために, 連立方程式には加減法と代入法の2つの解法があったことを確認する。</p> | | |
| <p>4. プリント右側の例題2を解く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>例題2 先生は駄菓子屋で1つ10円のチョコと1つ30円のガムを合わせて11個買いました。また, その値段の合計は210円でした。先生はチョコとガムをそれぞれいくつ買ったでしょう。</p> </div> <p>・チョコとガムの個数の関係</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">チョコの個数</div> + <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ガムの個数</div> = 11 (個) </div> <p>・値段の関係</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">チョコの代金</div> + <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ガムの代金</div> = 210 (円) </div> | <p>○学力定着のため, 類題を解く。その際, 言葉の式までは一斉でつくり, 立式から個人でする。</p> <p>○生徒の考えを把握するために, 机間指導を行う。</p> <p>○数量の関係を捉えやすくするために, 言葉の式をつくる。</p> | <p>一斉 ↓ 個人 ↓ 一斉</p> | <p>10</p> |
| <p>5. 本時の学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; width: fit-content;"> <p>求めたい2つの数を x, y でおく。</p> </div> | <p>○本時の学習の定着を測るために振り返りを行う。</p> | <p>一斉 ↓ 個人 ↓ 一斉</p> | <p>5</p> |